

Green Festival 2007

第251回

5月12日(土) 15:00 開演

- 四方恭子 (ヴァイオリン)
- 水野信行 (ホルン) トリオの午後
- 水野紀子 (ピアノ)

第252回

5月19日(土) 15:00 開演

- 仲道郁代 ピアノ協奏曲の午後
指揮/ゲルハルト・ボッセ 管弦楽/神戸市室内合奏団
-ベートーヴェン ピアノ協奏曲全曲連続演奏 第4回(最終回)-

第253回

5月26日(土) 15:00 開演

- 大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート
指揮/現田茂夫 独奏/小野眞優美(ヴィオラ) 近藤浩志(チェロ)

第254回

5月27日(日) 15:00 開演

- 神戸学院大学吹奏楽部 第21回サマー・コンサート
客演指揮/松井隆司 指揮/高橋裕哉・戸田有治

第255回

6月9日(土) 15:00 開演

- 演劇公演・林田鉄のひとりかたり『うしろすがたの—山頭火』
作、演出、出演=林田鉄(四方館)

入場無料

会場/神戸学院大学(有瀬キャンパス)メモリアルホール(9号館) 主催/神戸学院大学 後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元氣文化圏

- お申込方法 ◎往復ハガキを使用してください。私製ハガキや2枚のハガキの貼り合せは避けて下さい。申込者多数の場合は抽選になります。
- ・ 往復裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
- ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
- ・ 返信表面は空白のままをお願いします。
- ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお受付とさせていただきます。
- ・ 受付期間は各公演の1カ月前~2週間前(必着)です。
- ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

- お申込み・お問い合わせ先
〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)
神戸学院大学グリーンフェスティバル係
電話078-974-5896 (担当部署: 広報・渉外グループ)
電話078-974-1607 (担当部署: 学生生活課 2007年3月31日まで)
※4月から担当部署が「広報・渉外グループ」に変更になります。ご注意ください。
- 交通経路と所要時間
 - ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乘車(約20分)
 - ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乘車(約15分)
 - ③ JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乘車、終点下車後徒歩約12分
 ※お車でのご来場は固くお断りいたします。

~個人情報取扱いについて~
入場申込往復ハガキにご記入いただいた個人情報は、申込内容の確認、入場券の発送(抽選の場合の結果通知を含む)、申込み状況の統計分析に限って使用します。

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE



四方恭子(ヴァイオリン)・水野信行(ホルン)・水野紀子(ピアノ) トリオの午後

- 曲目 ●モーツァルト～ナウマン……三重奏曲 変ホ長調 K.407
- チャイコフスキー……なつかしい土地の思い出 作品42(ヴァイオリンとピアノ)
- クロール……ラウダツィオ(ホルン・ソロ)
- デュカス……ヴィラネル(ホルンとピアノ)
- ブラームス……三重奏曲 変ホ長調 作品40

四方さんは神戸のご出身であり、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団のコンサートミストレスを務めておられる名手ですから、ご存じの方も多いでしょう。ぜひご出演をお願いしたいと考えていたところ、タイミングよく水野さんが彼女と共演したい意向を示されました。水野さんはドイツの名門ハンベルク交響楽団で首席を務めておられましたが、大震災の年の秋、同楽団のお仲間総勢13名でグリーン・フェスティバルへチャリティ出演して下さいました。紀子さんは氏の奥様で、長年ドイツを中心に活躍された室内楽の名手。1994年秋、1996年秋に続き久々に3回目のフェスティバル登場です。ソロやデュオによる小品を挟んで、アタマとトリはモーツァルト(原曲はホルンと弦の五重奏)とブラームスによるホルンを含んだ室内楽の名品。味わい深いコンサートになること、請け合いです。

仲道郁代 ピアノ協奏曲の午後

- 曲目 ●ベートーヴェン……交響曲 第8番 へ長調 作品93
- ベートーヴェン……ピアノと管弦楽のためのロンド 変ロ長調 WoO.6
- ベートーヴェン……ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73 「皇帝」

2004年にスタートしたベートーヴェンのピアノ協奏曲(全8曲)の連続演奏もおかげさまで最終回を迎えます。ベートーヴェンのピアノ協奏曲と言うと全5曲と考えるのが通例で、CDのセット物でもそうになっているのが多いのですが、同じやるならベートーヴェンの作であることが確実な編曲ものや習作的なものを入れるということで郁代さんと意見が一致して、実演ではめったに耳にできないものもご紹介できたのはうれしいことでした。今回の2曲目もそのひとつで、当初、現在の「第2協奏曲」の終楽章として構想されていたものです。トリの「皇帝」はまさにこの副題がぴったりの名曲。このシリーズの結びにふさわしい演奏となることでしょう。ポッセ氏と合奏団の好サポートも見逃せませんが、氏がかつて新日本フィルと共に披露して絶賛された「ベートーヴェン・交響曲ツィクルス」の一端に触れていただきたく、「第8番」をアタマにつけました。

大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート

- 曲目 ●ヴォーン＝ウィリアムズ……グリーンズリーヴズによる幻想曲
- エルガー……チェロ協奏曲 ホ短調 作品85
- ベルリオーズ……交響曲 「イタリアのハロルド」 作品16

17回目のフェスティバル登場。各パートの首席奏者を独奏者とする協奏曲を組み込んだプログラミングは木管楽器から始まって、金管楽器、ティンパニ、ハープ、弦楽器と巡り、今回で一応ひと廻りすることになります。チェロ協奏曲の人気投票をすると、「ドボ・コン」ことドヴォルジャークのものが第1位になるのはまず間違いないのでしょうか、第2位の予想は難しい。エルガーがその地位を占めるかどうかは微妙ですが、評論家・宇野功芳氏による「人生の秋を想わせる」との評がピッタリの名曲です。ベルリオーズがオーケストラに登場するときは判で押したように「幻想交響曲」。ヴィオラがソロを受け持つ「イタリアのハロルド」の実演に接しられた方は極めて少ないのではないのでしょうか。これも「幻想」にそう引けをとらない味のある曲です。独奏のお二人ともそれぞれの曲を強く希望されましたから、すばらしい演奏が期待できます。フェスティバル初登場の現田さんによる好サポートも楽しみです。

神戸学院大学吹奏楽部 第21回サマー・コンサート

- 第1部……シンフォニックステージ
- 第2部……企画ステージ
- 第3部……ポップスステージ

今年も3部構成でお贈りします。

第1部のシンフォニックステージでは、学生指揮によるはつらつとした演奏をお聴かせします。また、今年も伊川谷北高等学校の松井隆司先生を客演指揮としてお迎えし、本年度吹奏楽コンクールで演奏します曲を披露させていただきます。

第2部は、企画ステージとして演奏以外にも力をいれ、視覚的にも皆さまに楽しんでもらえるようなステージとなっております。今年も魅せます。そして聴かせます。

第3部はポップスの名曲、皆さまなじみのある曲を演奏いたします。

一人でも多くの方に喜んでいただけるよう、新入部員含め部員一同精一杯演奏いたします。皆さまのご来場、お待ちしております。

詳しい情報はこちらへ→http://www.geocities.jp/kgu_wind_orchestra/

演劇公演・林田鉄のひとりかたり『うしろすがたの——山頭火』

- 作・演出・出演……林田鉄(四方館)

「うしろすがたのしぐれてゆくか」「鴉啼いてわたしも一人」などの自由律俳句で知られる種田山頭火は、旅の中で人生を送った漂泊放浪の俳人でもありました。その生涯を、舞踊家であり演劇人でもある林田鉄が深みのある語り芸へと結晶させました。孤独に生きたからこそ見えてくる人生の意味を私たちに語りかけてくる秀作です。ひとり芝居の魅力を存分に堪能してください。